



非常持出品・備蓄品を準備しよう

参照 情報No.7を活用しよう

やってみよう!

最低限備える 「災害時の必需品」を検討する

災害は突然発生します。仕事などで外出中に被災して交通機関がストップした場合には、安全が確保されるまで勤務先などにとどまる必要があります。自宅で被災した場合もライフラインが止まってしまえば日常生活に重大な支障を来します。大規模災害で復旧が遅れることもありえます。「自分にとって、わが家にとって」災害時に必要な物を整理し、いざというときに備えましょう。



防災情報編

2~3日分備える 「非常持出品」を手近に備える

非常持出品は、建物が倒壊する恐れがあるなど災害の危険が迫って避難する際に自宅から緊急的に持ち出す品々です。避難場所で1~2泊できるくらいの水・食料・生活用品を準備しておきたいところです。とっさの場合ですから、あれこれ物色している余裕はありません。日ごろから非常持出袋などにまとめ、すぐに持ち出せる場所に用意しておきましょう。



1週間分以上備える 数日間は「備蓄品」で乗り切る

大規模災害発生時は、道路の損壊などによって物の流れがストップします。被害の程度が大きくなるほど復旧は遅れ、救援物資が届くのに時間がかかります。従来、水や食料品などの備蓄品は3日分程度を備えるよう推奨されてきましたが、これはあくまでも最低限の目安です。東日本大震災の教訓を踏まえると、できれば**1週間分以上は備蓄しておきましょう**。また、備蓄食料のうち3日分はできるだけ調理不要なものを用意しておきましょう。

